

インバータを更新いただくお客様へ

TOSVERT™ VF-A7 → TOSVERT™ VF-AS1

TOSVERT VF-A7 は、製造およびすべての保守サービスを終了させていただいております。
このパンフレットでは、標準的なご使用方法の VF-A7 を、後継機種種の VF-AS1 へ更新いただく際の配線および設定に関する情報を掲載しております。
詳細な資料につきましては、東芝シュネデール・インバータ(株)ホームページ(<http://www.inverter.co.jp/>)の会員サービス(登録無料:登録まで2営業日かかります)に、製品添付の取扱説明書および置換えマニュアルを準備しておりますので、ご確認ください。

VF-A7 から VF-AS1 への置換えについて

VF-A7 から VF-AS1 へ更新を行う場合、以下の手順で据付け・配線・パラメータ設定を行ってください。

- 1. VF-A7 の使用方法のご確認
- 2. VF-AS1 の据付け
- 3. 電源・モータの配線
- 4. 制御信号の配線
- 5. パラメータ設定

【推奨】

VF-A7 に電源投入ができ、設定内容の読出しが可能であれば、パラメータ設定内容の読出し・記録を行ってください。



(VF-A7)



(VF-AS1)

1. TOSVERT VF-A7 の使用方法のご確認

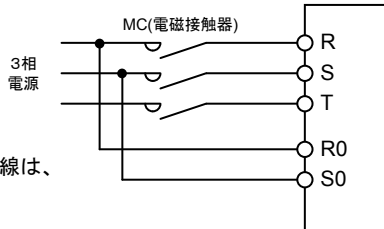
TOSVERT VF-A7 の使用方法をご確認ください。

- 運転停止方法の確認
 - A. 外部信号により運転・停止
 - B. 操作パネルの RUN, STOP キーで運転・停止
- 周波数設定方法の確認
 - C. 外部ボリュームにより周波数設定
 - D. Δ▽キーにより周波数設定

■ 制御電源 R0,S0 への配線

制御電源端子(R0,S0)への配線が、下図のように MC(電磁接触器)の一次側に配線されている場合、制御電源バックアップオプション(CPS002Z)を準備してください。

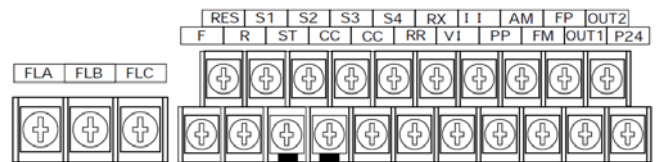
注)VF-A7 用の CPS0011 は VF-AS1 に使用できません。



上記以外の場合、制御電源配線は、不要です。

■ 制御回路端子台への配線の確認

以下は、VF-A7 の制御回路端子台です。配線されている端子をチェックしてください。



- C PP-RR-CC にボリューム接続の場合
- F RR,VI または II の信号を切り換えて使用している場合

E 周波数計を接続している場合

注:各記号(A~F)は、5項のパラメータ設定時の記号です。

【ご注意ください】

定格銘板(インバータ右側面に貼付)のインバータ形式末尾に「Y-A□□」(□:数字)と記載のあるインバータは、特殊仕様品です。インバータが取り付けられている機械の製造メーカーまたは機械の購入元(販売店)に、インバータ更新のご依頼をお願いします。

形式例:VFA7-2037PLY-A99

2. 据付け 3. 電源・モータの配線 4. 制御信号の配線

インバータを据付け後、電源・モータの配線を行ってください。
※必ず、電源が遮断されていることを確認してください。

■電源・モータ配線

	VF-A7	⇒	VF-AS1
電源	R/L1	⇒	R/L1
	S/L2	⇒	S/L2
	T/L3	⇒	T/L3
モータ	U/T1	⇒	U/T1
	V/T2	⇒	V/T2
	W/T3	⇒	W/T3

■制御信号の配線

VF-A7 に配線されている信号線を、VF-AS1 に接続します。
以下の端子については、端子名称が異なります。

VF-A7	⇒	VF-AS1	備考
VI,II	⇒	VI/II	(*)
S4	⇒	RR/S4	(*)
FP	⇒	OUT1	(*)

(*):取扱説明書・置換えマニュアルをご参照ください。

注:OUT1,OUT2 端子を使用する場合、NO-CC 間を短絡してください。

5. パラメータ設定

A. 外部信号により運転・停止

パラメータ設定は不要です。

B. 操作パネルの RUN, STOP キーで運転・停止

以下手順でパラメータ設定を行ってください。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
(MODE)	RUH	
(▲) 4回	Fn0d	
(ENT)	0	
(▼) 1回	1	
(ENT)	Fn0d	Fn0d⇔1 の交互表示後、自動的に Fn0d 表示になります
(MODE) 2回	0.0	設定完了です

C. 外部ボリュームにより周波数設定

ボリュームを PP-RR/S4-CCA 端子に接続してください。
パラメータ設定は不要です。

D. ▲▼キーにより周波数設定

以下手順でパラメータ設定を行ってください。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
(MODE)	RUH	
(▲) 5回	Fn0d	
(ENT)	0	
(▲) 3回	4	
(ENT)	Fn0d	Fn0d⇔4 の交互表示後、自動的に Fn0d 表示になります
(MODE) 2回	0.0	設定完了です
(▲)	60.0	運転周波数を設定します。 例: 60Hz の周波数設定 (60.0 になるまで、▲キーを押す)
(ENT)	0.0	F0⇔60.0 の交互表示後、自動的に 0.0 表示になります

E. 周波数計を接続している場合

周波数計を FM-CCA 端子に接続し、以下手順で周波数計の校正を行ってください。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
	60.0	例: 60Hz で運転
(EASY)	60.0	
(MODE)	RU4	
(▼) 2回	Fn	
(ENT)	60.0	
(▲) または (▼)	60.0	△ または ▽ キーによりメータを調整します。 この時メータの指示は変わりますが、インバータのデジタルLED(モニタ)表示は変わりませんので、ご注意ください。
(ENT)	Fn	Fn⇔60.0 の交互表示後、自動的に Fn 表示になります
(MODE) 2回	0.0	
(EASY)	0.0	校正完了です



F. RR,VI または II の信号を切り換えて使用している場合

以下手順でパラメータ設定を行ってください。

キー操作	表示	備考
	0.0	電源投入
(MODE)	RUH	
(▼) 11回	F2--	
(ENT)	F200	
(ENT)	0	
(▲)	1	
(ENT)	F200	F200⇔1 の交互表示後、自動的に F200 表示になります
(MODE) 3回	0.0	設定完了です

